

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和4年8月23日(火)

午後2時55分 開会

○岩田玲子委員長

ただいまから、建設産業委員会を開会します。協議題1 閉会中の調査事項についてを行います。先般の県外視察を終えて、皆さまから報告書を事前にいただいておりますので、順にそのご意見について、ご説明、ご提言等をお願いしたいと思います。なるべく、提言に関わるような事項をご意見いただけるとありがたいです。それでは、副委員長からお願いします。

○國弘秀之副委員長

近年のお墓の形態のニーズに変化があるということを目の当たりにすることができました。散歩や犬を連れている方、花を觀賞する目的の方など、お墓参り以外の目的の方にも非常にニーズが高く、従来のお墓のイメージを覆す墓地が見られたのは非常に参考になりました。

○坂井美穂委員

東京都の小平霊園では、墓じまい支援をしているということが非常に参考になりました。半田市においても、合葬墓を整備し、「施設変更制度」を設けられれば、一般墓地の使用者に対して、合葬墓への移転を行い、今後永遠に半田市が供養するといった制度のため、無縁墳墓の解消につながると思いました。そういった意味でも合葬墓は半田市にも必要性を感じました。合葬墓は生前に申し込むことができ、お墓を継いでくれる人がいない人も使用できるものが現在のニーズに合っていると感じました。したがって、合葬墓は管理料の徴収はなしとするほうが良いと思いました。

半田市にはお墓の前に立つことも困難な墓地があるため、合葬墓に献花台がある形式は参考になると思いました。

○新美保博委員

それぞれの地域で努力していることは感じました。そのうえで、強く感じたのは、行政は手を出さないことが妥当だと思いました。市営墓地は市民全員が使うわけではないため、公金を投入することは妥当ではないと考えるためです。半田市はほかにやることある中で、新しいことを行うのは、難しいと思うので、墓地の変形については行政が手を出すべきではないと思いました。

○小栗佳仁委員

人口規模が半田市と全く違うため、競争率が非常に高い地域だからこそ、合葬墓は生きているのではないかと感じました。半田市では、無縁墓地のあり方を第一に考え、その先に墓地のあり方を検討しながら、合葬墓のニーズがあるのかを把握することが必要なのではないかと思います。合葬墓の建設費用を考えると、公費の投入が最小限となるよう、慎重に考えていく必要があると感じました。

○竹内功治委員

半田市だけで、新たな形式の墓地を作るのは難しいので、使用料管理料を徴収し、それによって管理運営委託ができるのであれば、新たなものをぜひ作っていただければと思います。新しい形式の墓地は、場所を取らないものが多く、将来的にはもしかしたら必要なのかもしれないと感じました。

○大山市民経済部長

行政の課題は、管理料の問題で、3つの視察地すべてが、管理料をもらっていたということでした。サービス向上の観点、受益者負担の観点から、管理料の必要性を感じました横浜市でも管理料未納者がいることを踏まえ、半田市でも慎重に考えていく必要があると感じましたが、特別会計にしている墓地もあり、それが将来的な墓地のあり方になってくるのではないかと思います。新しい形式の墓地を作るには、しっかりとニーズの把握が必要だと思いました。

○岩田玲子委員長

ありがとうございました。皆さんの意見を聞いて、新たにご意見等ありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ありがとうございます。本日いただいた意見は、委員会報告作成の際に反映させていただきます。よろしく申し上げます。また、より、半田市の実情に近い県内視察にも行きたいと考えています。委員長案としては、知多市と岡崎市に行きたいと考えています。ただ、皆様のご意見もあるので、行くかどうかについても皆様のご意見をいただきながら決めたいと思います。

知多市にある知多墓園は、令和4年12月から利用が開始される合葬式墓地があり、一般墓所もあるため、半田市が合葬墓を新たに設置した場合に、状況に近いのではないかと

と思っています。

岡崎市にある岡崎墓園は、納骨堂や、無縁墳墓があるほか、平成31年から、管理料の徴収が開始されており、未納の期間が5年以上続く場合は利用許可取り消しの対象となるということで、今まで管理料を徴収していなかった中で、管理料の徴収を開始した点で、参考になるのではないかと思います。

2か所の墓地への県内視察について、ご意見等あればよろしく願いいたします。

○竹内功治委員

知多市は、県外視察を行った都市に比べ、半田市の現状に近く、個人的には視察したいという思いがあります。

○小栗佳仁委員

私も、人口規模から考えて、知多市の合葬式墓地は、実際機能しているのかを知りたいと思っています。また管理事務所のない合葬墓地で、納骨はどのように行っているのかを知りたいと思います。こういったところは参考になると思います。

○新美保博委員

県外視察では、半田市の課題の解決はできませんでした。県内視察の視察先を決める前に、半田市の課題を明確にしておく必要があると思います。まずは、管理料を半田市としてどうするのか、売れていない区画をどうするのか、所有者不明の墓地をどうするのかを考えるのが先決だと思います。その解決策の一つとして、合葬墓はあると思いますが、管理料も併せて考えていく必要があると思います。課題が整理できていない中で、今はまだ視察を行う段階ではないと思っています。

○坂井美穂委員

合葬式墓地は、継承する人がいない方や無縁の方が入る墓地であるという性質上、管理料を徴収することができないと理解しています。そのため、合葬墓地と一般墓所はセットで行う必要があり、一般墓所のほうから管理料を取る中で、合葬式墓地も運営していくことになるかと理解をしているので、知多市を視察するのは勉強になると思います。

○國弘秀之委員

行くことに異論はないですが、行くにあたって半田市の課題を改めて整理することと、様々な墓地の形態がある中で、目的をきちんとしたうえで、視察に行けたらよいと思います。

○大山仁志市民経済部長

管理料の徴収が一番の課題であるため、特に岡崎のほうは平成 31 年度から取り始めたということで、そういったお話が聞けるのであれば、ぜひお聞きしたいと思います。

○新美保博委員

管理料は、半田市は徴収するのですか。管理料の徴収を行うかどうかの方向性をまず決めるべきではないのですか。そのうえで、今まで取っていなかった一般墓所の管理料をどのようにとるのかを見に行くのであれば、それは見に行く価値があると思います。まずは、管理料を取るべきかどうかを議論するべきです。

○岩田玲子委員長

合葬墓が必要であると仮定し、先進事例を視察したうえで、半田市でやれるのかどうか課題だと思っています。

○新美保博委員

合葬墓のニーズはどの程度ですか。

○岩田玲子委員長

私に相談があった人は 2 人です。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 29 分

再開 午後 3 時 56 分

○岩田玲子委員長

委員会を再開いたします。休憩中に話し合った結果、合葬墓でも管理料の徴収は必要であるという意見と、合葬墓は、継承する人がいない方や無縁の方が入る墓地であるという性質上、管理料を徴収することができないという意見があり、無縁墳墓がある中で、合葬墓自体も市として整備する必要がないのではないかという意見もありました。一般墓所についても、管理料を取るべきという意見と、取るべきではないという意見がありました。

そのうえで、管理料を徴収すべきかの検討を深めるためにも、先進地に行くということと、合意をいただきましたので、候補日の日程調整を行います。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 57 分

再開 午後 3 時 58 分

○岩田玲子委員長

会議を再開します。調整の結果、10月27日を第一候補、11月4日を第二候補とさせていただきます。ご予定いただきますようお願いいたします。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 58 分

再開 午後 3 時 59 分

○岩田玲子委員長

会議を再開します。協議題 2 その他を議題とします。今後の事業評価のスケジュールを確認します。スケジュールは資料のとおりです。委員長、副委員長で評価する事業の候補を 5 つ選定し、その 5 つの中から委員の皆様と協議し、事業を 1 つに絞り評価を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。そのほか、何かありましたらよろしくお願いいたします。

【「なし」との声あり。】

○岩田玲子委員長

ないようですので、以上で建設産業委員会を終了します。

閉会 午後 4 時 01 分